

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村雄也 栗岡由紀子 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/青本で学校を理解する/	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載 電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	6月26日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月3日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月10日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 梅村雄也 栗岡由紀子 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。					
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月9日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月16日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月23日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	10月30日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月6日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月13日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	11月20日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	11月27日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月4日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	12月11日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	12月18日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	ワークシート提出
13	1月15日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	ワークシート提出
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 梅村雄也 栗岡由紀子 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。					
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 梅村雄也 栗岡由紀子 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。					
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月12日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月19日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月26日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月2日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月16日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月23日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	11月30日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月7日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月14日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	12月21日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月11日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	1月18日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員 梅村雄也 栗岡由紀子 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。					
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月24日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月15日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	5月22日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	5月29日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月5日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月12日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月19日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	7月3日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月10日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月17日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月21日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(6)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員 梅村雄也 栗岡由紀子 松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。					
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月16日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月30日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	11月6日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月13日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月20日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月27日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月4日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月11日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月18日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月15日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月22日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	2月5日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロジェクトマネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介・オリエンテーションから人前で話せる力を身につける。	レポート
2	4月21日	講義・演習	イベントの成り立ちを学習する	レポート
3	5月12日	講義・演習	イベントにおけるディスカッション方法を身につける事ができる	レポート
4	5月19日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告ができるようになる。	レポート
5	5月26日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告の重要性を理解する	レポート
6	6月2日	講義・演習	グループワーク、資料作成ができる	レポート
7	6月9日	講義・演習	イベント実務に必要なコミュニケーションを理解する	レポート
8	6月16日	講義・演習	グループワーク・実務資料(マニュアルの作成)を行うことができる	レポート
9	6月23日	講義・演習	グループワークを通じたイベントの実施ができる	レポート
10	6月30日	講義・演習	イベント実施後の振り返り、終了報告をグループで行うことができる	レポート
11	7月7日	講義・演習	イベント運営に向けたグループワークを行う。	レポート
12	7月14日	講義・演習	FESの運営方法からマネジメントを学ぶことができる。	レポート
13	8月25日	講義・演習	(テスト)運営方法を考案しグループ内で発表することができる	レポート
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	マネジメント実践ゼミ(3) マネジメント実践ゼミA(3)	必修 選択	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(3) マネジメント実践ゼミC(3)	必修 選択	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。 様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			Adobe Illustrator, Adobe Photoshop, Keynote, PPTの不明点を自分で調べておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(4) マネジメント実践ゼミA(4)	必修 選択	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(4) マネジメント実践ゼミC(4)	必修 選択	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			Adobe Illustrator, Adobe Photoshop, Keynote, PPTの不明点を自分で調べておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	キャリアマネジメント(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする 就職活動の準備として自己分析のポイントを理解し、就職活動への苦手意識を軽減する目的の授業 ・自己分析を通して自己理解を深める ・就職活動の仕組みを知る ・就職活動において重要な自己表現能力を磨く						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に相手に伝えられる言語化力を身につける ・幅広い考え方で物事を柔軟に捉えられるようになる ・自ら考え、判断できるようになる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	就職活動の全体像と流れを知る	自分自身の分析
2	10月16日	講義・演習	自己分析の重要性や方法を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
3	10月30日	講義・演習	就職活動の軸を見つける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
4	11月6日	講義・演習	会社選びの方法を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
5	11月13日	講義・演習	自己PRIに書く内容を見つける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
6	11月20日	講義・演習	履歴書 / ESでの伝え方を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
7	11月27日	講義・演習	志望動機 / ガクチカに書く内容を見つける	レポート
8	12月4日	講義・演習	履歴書 / ESを書き、言語化力を磨く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	12月11日	講義・演習	面接で話す準備をする	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月18日	講義・演習	就職活動のマナーを身につける	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	1月15日	講義・演習	模擬面接を通して面接の感覚を掴む	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	1月22日	講義・演習	グループディスカッションの流れを理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
13	2月5日	講義・演習	模擬面接を通して質問の意図を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer A(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	バックダンサーとして必要とする”揃える”ということを学び、かつ”自分らしさ”を授業の中で見つけてもらう。						
到達目標	卒業後、バックダンサーとして輝けるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義・演習	授業内容を理解する。	自分がなりたいものを明確にする
2	5月9日	講義・演習	ストレッチ、アイソレを学習	授業内容を復習
3	5月16日	講義・演習	振り付けを学習	振り付け復習
4	5月23日	講義・演習	振り付け2週目を学習	振り付けを自分らしく踊れるよう復習
5	5月30日	講義・演習	みんなで揃えられるようフォーメーション付け	3週分の復習、より良く踊れるよう自主練
6	6月6日	講義・演習	新しい振り付け	授業内容を復習
7	6月13日	講義・演習	振り付け2週目を学習	授業内容を復習、より良く踊れるよう自主練
8	6月20日	講義・演習	振り付け3週目、自分達でフォーメーション付け	授業内でできなかったことを復習
9	7月4日	講義・演習	新しい振り付け	授業内容を復習
10	7月11日	講義・演習	振り付け2週目を学習	授業内でできなかったことを復習、自主練
11	7月18日	講義・演習	振り付け3週目、より揃えるを意識	授業内でできなかったことを復習
12	8月22日	講義・演習	3つの振り付けを復習、発表	授業内でできなかったことを復習、自主練
13	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して自分の魅せ方を学ぶ	レポートの提出
14	9月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月26日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	バックダンサーとして必要とする”揃える”ということを学び、かつ”自分らしさ”を授業の中で見つけてもらう。						
到達目標	卒業後、バックダンサーとして輝けるようにすること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	バックダンサーとして魅せられるような身体作り	授業内で足りないと思ったところを復習
2	10月17日	講義・演習	ジャズの基礎、振り付け	授業内容を復習
3	10月24日	講義・演習	アイソレーションを復習	2週分の内容を復習
4	10月31日	講義・演習	リズムトレーニング等の基礎を復習	授業内容を復習
5	11月7日	講義・演習	ヒールでトレーニング/基礎練	授業内容を正しく理解したか復習
6	11月14日	講義・演習	前の週の内容を復習、新しいコンビネーション	自分らしさをプラスして踊れるよう自主練
7	11月21日	講義・演習	ヒールの振り付け	ヒールで綺麗に魅せられるような体作り
8	11月28日	講義・演習	ストリートジャズの振り付け1週目	内容を復習
9	12月5日	講義・演習	ストリートジャズの振り付け2週目	正しく踊れるよう、自宅トレーニング
10	12月12日	講義・演習	ストリートジャズの振り付け3週目	3週分を復習
11	12月19日	講義・演習	振り付けのフォーメーション付け	授業内容を復習
12	1月16日	講義・演習	振り付け発表	出来なかったところを正しく理解し、復習
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通して自分の魅せ方を学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永 ・ 小久保奈々
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JYJ,東方神起 バックダンサー						
授業の学習 内容	①ウォームアップ(ボディーコントロール,柔軟性の向上) ②アイソレーション(基礎習得) ③筋トレ(体力,持久力の向上) ④振付						
到達目標	コアやメンタルの強化、スキルアップ、パフォーマンス力の向上、表現の幅を広げることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	振付①振りを正確に覚える	基礎練習、自分の目標を立てる
2	10月17日	講義・演習	体の角度、アクセント、緩急を意識する	曲をよく聞いてポイントとなる音を覚える
3	10月24日	講義・演習	全身を大きく動かし可動域を広げる	自分の踊りを見直し研究する
4	10月31日	講義・演習	ダンスを見せ合い意見交換する	自分のダンスを撮る、見る、の反復練習
5	11月7日	講義・演習	振付②自分の魅せ方を意識する	自分の好きな人、憧れている人の魅せ方を研究する
6	11月14日	講義・演習	自分のスタイルを固め、表現力を高める	曲の歌詞や意味、世界観を調べて理解する
7	11月21日	講義・演習	表現のバリエーションを増やす	他のダンサーの表現や魅せ方をよく観察する
8	11月28日	講義・演習	振付③感情表現を意識する	自分の表現したいイメージを考えてくる
9	12月5日	講義・演習	自信を持って最大限に魅せることを実践する	自信を持てるまで反復練習
10	12月12日	講義・演習	どんな場面でもメンタルを強くもちパフォーマンスする	人前で踊ることに自信を持つ
11	12月19日	講義・演習	テスト	踊り込み/レポート提出
12	1月16日	講義・演習	フィードバック	指摘されたこと、自分に足りないことをメモする
13	1月23日	講義・演習	振付④学んだことを活かして実践する	反復練習
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ダンスの映像やアー写など沢山撮ってもらう	
【使用教科書・教材・参考書】				
好きなアーティストのMV,LIVE映像				

科目名	K-POP B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永・ 小久保奈々
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JYJ,東方神起 バックダンサー						
授業の学習 内容	①ウォームアップ(ボディーコントロール,柔軟性の向上) ②アイソレーション(基礎習得) ③筋トレ(体力,持久力の向上) ④振付						
到達目標	技術面や表現力の向上、パフォーマンスのする上での意識、大事な場面で自分を最大限に魅せられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	振付①振りを正確に覚える	基礎練習
2	10月17日	講義・演習	メリハリをつけてクリアに踊ることを意識する	自分の踊りをよく見直し反復練習
3	10月24日	講義・演習	曲に対して自分のイメージした感情を表現する	曲の歌詞や意味、世界観を調べて理解する
4	10月31日	講義・演習	魅せる意識を持って表現する	表情、感情のイメージを膨らませる
5	11月7日	講義・演習	振付②パフォーマンス力を高める	振りの正確性を重視して練習
6	11月14日	講義・演習	グループに分け構成を考える	団一テストの映像など参考にする
7	11月21日	講義・演習	グループごとに見せ合う	いろんな表現を観察し吸収する
8	11月28日	講義・演習	振付③一回の振り入れでなるべく自分のものにする	他の授業でも常に意識してみる
9	12月5日	講義・演習	表情、全身で曲を表現することを意識する	曲をよく聞いてイメージを膨らませる
10	12月12日	講義・演習	存在感、自己アピールの意識を持つ	自分の魅せ方を明確に追求する
11	12月19日	講義・演習	テスト予定	レポート課題
12	1月16日	講義・演習	フィードバック	指摘されたこと、自分に足りないことをメモする
13	1月23日	講義・演習	振付④自分を最大限に魅せる	学んだことを常に意識して授業に取り組む
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ダンスの映像撮ってもらう。ダンスイベントに参加する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
好きなアーティストのMV,LIVE映像				

科目名	Lock(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	振付師・ダンサー・モデルとして活躍中。女優、モデル、アイドル、アーティストのレッスンなども担当する。						
授業の学習 内容	ベースはダンスを楽しむ事、その中でlockを好きになってくれる人が1人でも多く現れるように指導を努める。						
到達目標	lockの技を使ってフリーで踊れるようになる事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月25日	講義・演習	LOCKの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
2	5月9日	講義・演習	LOCKの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
3	5月16日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったlockでアプローチ
4	5月23日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったlockでアプローチ
5	5月30日	講義・演習	フリーでlockingを踊る	基礎をおさらい
6	6月6日	講義・演習	フリーでlockingを踊る	基礎をおさらい
7	6月13日	講義・演習	チーム分けをして皆で遊ぶセッション	lockの技でフリーで踊る
8	6月20日	講義・演習	チーム分けをして皆でセッション	lockの技でフリーで踊る
9	7月4日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
10	7月11日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
11	7月18日	講義・演習	試験の課題を報告	課題を仕上げる
12	8月22日	講義・演習	課題を披露	課題を披露
13	9月12日	講義・演習	lockの楽しさをシェア	セッションして遊ぶ
14	9月19日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月26日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Lock(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	振付師・ダンサー・モデルとして活躍中。女優、モデル、アイドル、アーティストのレッスンなども担当する。						
授業の学習 内容	ベースはダンスを楽しむ事、その中でlockを好きになってくれる人が1人でも多く現れるように指導を努める。						
到達目標	lockの技を使ってフリーで踊れるようになる事						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	LOCKの基礎ムーブ①	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
2	10月17日	講義・演習	LOCKの基礎ムーブ②	YouTubeなどを観てLOCKのイメージを持つ
3	10月24日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったlockでアプローチ
4	10月31日	講義・演習	基礎プラスアイソリズム	音楽を聞いて習ったlockでアプローチ
5	11月7日	講義・演習	フリーでlockingを踊る	基礎をおさらい
6	11月14日	講義・演習	フリーでlockingを踊る	基礎をおさらい
7	11月21日	講義・演習	チーム分けをして皆で遊ぶセッション	lockの技でフリーで踊る
8	11月28日	講義・演習	チーム分けをして皆でセッション	lockの技でフリーで踊る
9	12月5日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
10	12月12日	講義・演習	振付をそれぞれのチームでつくる	振付を披露しあう
11	12月19日	講義・演習	試験の課題を報告	課題を仕上げる
12	1月16日	講義・演習	課題を披露	課題を披露
13	1月23日	講義・演習	lockの楽しさをシェア	セッションして遊ぶ
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイデア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	5月7日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	5月14日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	5月21日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	5月28日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	6月4日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	6月11日	講義・演習	筋カトレーニング	授業の復習
8	6月18日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	6月25日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	7月2日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	7月9日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	7月16日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	9月10日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート 提出
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート 提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	All Dance Style (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	新しいテクノロジーを取り入れて、新しい表現が次々生み出されていくエンタメ業界を生きる為に、身体表現とテクノロジーを掛け合わせる方法を学び、研究、開発します。 [自分にしかできない]新しい組み合わせのエンターテイメントが創出できるように、「アイデア」「テクノロジー」「身体表現」の3種類のレッスンをを行います。						
到達目標	テクノロジー×エンターテイメントを学んで総合エンターテイナーを目指す 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	授業目的、チーム決め	自己紹介・興味のある事をまとめておく
2	10月15日	講義・演習	ブレインストーミング	自己紹介・興味のある事をまとめておく
3	10月22日	講義・演習	バックダンサーとしての基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
4	10月29日	講義・演習	ストレッチの基礎	自己紹介・興味のある事をまとめておく
5	11月5日	講義・演習	ジャンルを学ぶ	授業の復習
6	11月12日	講義・演習	パフォーマンス制作の工程	授業の復習
7	11月19日	講義・演習	筋カトレーニング	授業の復習
8	11月26日	講義・演習	プロフェッショナルになるための心構え	授業の復習
9	12月3日	講義・演習	人間力を磨く	授業の復習
10	12月10日	講義・演習	ステージで使える表現のコツ	授業の復習
11	12月17日	講義・演習	ステップ基礎	授業の復習
12	1月21日	講義・演習	ステップ応用	授業の復習
13	2月4日	講義・演習	振りの確認	授業の復習
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 演技(5)	必修 選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	発声・滑舌・姿勢などの演技に必要な基礎技術の習得 感情表現、身体表現、即興力の向上 台本を用いたセリフ練習、対話演技、集団演技 キャラクター分析と役作り シーンごとの演技構成と舞台上の動きの習得 歌唱・ダンスと統合した総合演技の練習					
到達目標	舞台上で自然な感情表現と声の使い方ができる 他者と協働して対話・集団演技を成立させられる 台本の役割を理解し、自分のキャラクターを的確に表現できる 歌やダンスと組み合わせた演技を通して、ミュージカル作品の一部として演じ切ることができる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	演技とは何か？感情表現と自己解放ワーク	
2	5月13日	講義・演習	基本的な身体表現・姿勢・呼吸法	
3	5月20日	講義・演習	声の出し方・発声練習と滑舌	
4	5月27日	講義・演習	感情をこめたセリフ読み(短文)	
5	6月3日	講義・演習	即興劇ワークショップ①(反応を大切に)	
6	6月10日	講義・演習	台本を使った対話演技①(2人1組)	
7	6月17日	講義・演習	感情の起伏を表現する練習	
8	6月24日	講義・演習	シチュエーション別の演技トレーニング	
9	7月1日	講義・演習	日本演技②(集団シーン)	
10	7月8日	講義・演習	空間の使い方と動きながらの演技	
11	7月15日	講義・演習	小道具を使った演技練習	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(前期まとめの通し練習)	
13	9月9日	講義・演習	リハーサル②(演出とフィードバック)	
14	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 演技(6)	必修 選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	発声・滑舌・姿勢などの演技に必要な基礎技術の習得 感情表現、身体表現、即興力の向上 台本を用いたセリフ練習、対話演技、集団演技 キャラクター分析と役作り シーンごとの演技構成と舞台上の動きの習得 歌唱・ダンスと統合した総合演技の練習					
到達目標	舞台上で自然な感情表現と声の使い方ができる 他者と協働して対話・集団演技を成立させられる 台本の役割を理解し、自分のキャラクターを的確に表現できる 歌やダンスと組み合わせた演技を通して、ミュージカル作品の一部として演じ切ることができる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期の復習と役割決定・配役読み合わせ	
2	10月14日	講義・演習	台本に基づく演技練習①(自分の役に集中)	
3	10月21日	講義・演習	感情と動きの一体化トレーニング	
4	10月28日	講義・演習	共演者との呼吸合わせ・コンビネーション練習	
5	11月4日	講義・演習	シーン別に分けた演技確認①	
6	11月11日	講義・演習	シーン別に分けた演技確認②	
7	11月18日	講義・演習	シーンごとの演出確認と修正	
8	11月25日	講義・演習	通し稽古①(演技のみ)	
9	12月2日	講義・演習	歌・ダンスとの統合練習①(動線確認)	
10	12月9日	講義・演習	通し稽古②(照明・道具の確認)	
11	12月16日	講義・演習	本番想定演技最終調整	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(公開リハまたは指導者講評)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 歌唱(5)	必修 選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	呼吸法・発声法・滑舌などの基本的な歌唱技術の習得 音程、リズム、表現力のトレーニング 歌詞の意味理解と感情を込めた歌唱練習 ソロ・ハーモニー・コーラスの練習 舞台上での声の出し方や歌唱中の表情、動作との連動 演技・ダンスと連動した歌唱の練習と総合リハーサル					
到達目標	安定した音程とリズムで歌唱できる 歌詞に込められた感情を表現しながら歌える ソロ・グループにおける歌唱技術と協調性を身につける 動きや演技を伴う中でも歌唱を安定して行えるようになる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	呼吸と発声の基礎(腹式呼吸)	
2	5月13日	講義・演習	音域チェックとウォームアップ方法	
3	5月20日	講義・演習	声の響きと声量のコントロール	
4	5月27日	講義・演習	ピッチ(音程)とリズム練習	
5	6月3日	講義・演習	短いフレーズでの歌唱練習	
6	6月10日	講義・演習	ハーモニー体験(複数人での歌唱)	
7	6月17日	講義・演習	歌詞の意味を理解して歌う	
8	6月24日	講義・演習	ミュージカル特有の発声法と感情表現	
9	7月1日	講義・演習	表情と歌を連動させる	
10	7月8日	講義・演習	動きながらの歌唱練習	
11	7月15日	講義・演習	配役に応じたパート練習①	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(前期まとめの通し歌唱)	
13	9月9日	講義・演習	リハーサル②(講評と改善)	
14	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 歌唱(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	呼吸法・発声法・滑舌などの基本的な歌唱技術の習得 音程、リズム、表現力のトレーニング 歌詞の意味理解と感情を込めた歌唱練習 ソロ・ハーモニー・コーラスの練習 舞台上での声の出し方や歌唱中の表情、動作との連動 演技・ダンスと連動した歌唱の練習と総合リハーサル						
到達目標	安定した音程とリズムで歌唱できる 歌詞に込められた感情を表現しながら歌える ソロ・グループにおける歌唱技術と協調性を身につける 動きや演技を伴う中でも歌唱を安定して行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期復習とソロ/グループ歌唱の確認	
2	10月14日	講義・演習	各キャラクターに合った歌唱スタイル練習	
3	10月21日	講義・演習	本番曲練習①(メロディとテンポ確認)	
4	10月28日	講義・演習	本番曲練習②(フレーズごとの表現)	
5	11月4日	講義・演習	歌詞と演技の融合練習	
6	11月11日	講義・演習	ハーモニーとコーラス強化	
7	11月18日	講義・演習	舞台上の声の出し方(マイク・地声)	
8	11月25日	講義・演習	歌いながらの移動・ポジション確認	
9	12月2日	講義・演習	通し歌唱リハーサル①	
10	12月9日	講義・演習	演技・ダンスと合わせた練習	
11	12月16日	講義・演習	声のコンディション管理と本番準備	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(通しと最終確認)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 ダンス(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	姿勢・リズム感・身体の柔軟性を高めるための基礎トレーニング ミュージカルに必要なジャンル(バレエ・ジャズ・モダンなど)の基本ステップ フォーメーション、空間の使い方、グループの一体感の練習 表情や感情をのせたダンス表現の習得 歌唱・演技と統合された振付の習得 通しリハーサルによる舞台全体の流れの把握とパフォーマンス強化						
到達目標	リズムに乗って正確に動ける基本的なダンス力を身につける 振付を覚え、グループで揃って踊る協調性と集中力を養う 感情を伴った表現力豊かなダンスができるようになる 歌唱・演技と融合した総合パフォーマンスを舞台上で発揮できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ストレッチ・ウォームアップ・姿勢確認	
2	5月13日	講義・演習	リズムに乗る感覚を養う練習	
3	5月20日	講義・演習	ステップの基礎(バレエ/ジャズ/モダン)	
4	5月27日	講義・演習	手足の連動とボディバランス練習	
5	6月3日	講義・演習	表情とダンスの融合	
6	6月10日	講義・演習	短い振付を覚える練習	
7	6月17日	講義・演習	集団での動きの揃え方	
8	6月24日	講義・演習	リズム変化と即興ダンス	
9	7月1日	講義・演習	曲に合わせた短いコンビネーション①	
10	7月8日	講義・演習	空間の使い方・立ち位置確認	
11	7月15日	講義・演習	配役ごとの振付練習①	
12	7月22日	講義・演習	リハーサル①(振付通し)	
13	9月9日	講義・演習	リハーサル②(フォーメーション確認)	
14	9月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	明日への扉 ダンス(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	姿勢・リズム感・身体の柔軟性を高めるための基礎トレーニング ミュージカルに必要なジャンル(バレエ・ジャズ・モダンなど)の基本ステップ フォーメーション、空間の使い方、グループの一体感の練習 表情や感情をのせたダンス表現の習得 歌唱・演技と統合された振付の習得 通しリハーサルによる舞台全体の流れの把握とパフォーマンス強化						
到達目標	リズムに乗って正確に動ける基本的なダンス力を身につける 振付を覚え、グループで揃って踊る協調性と集中力を養う 感情を伴った表現力豊かなダンスができるようになる 歌唱・演技と融合した総合パフォーマンスを舞台上で発揮できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期振付の復習と応用練習	
2	10月14日	講義・演習	ミュージカル本編ダンス①(前半シーン)	
3	10月21日	講義・演習	本編ダンス②(後半シーン)	
4	10月28日	講義・演習	フォーメーション強化	
5	11月4日	講義・演習	演技・歌とのリンク確認	
6	11月11日	講義・演習	振付の感情表現強化	
7	11月18日	講義・演習	通し練習①(ダンスのみ)	
8	11月25日	講義・演習	全体の動線と位置関係確認	
9	12月2日	講義・演習	衣装をつけた状態での練習	
10	12月9日	講義・演習	歌との同時パフォーマンス練習	
11	12月16日	講義・演習	舞台転換含む動きの確認	
12	1月20日	講義・演習	リハーサル①(全体通し)	
13	2月3日	講義・演習	リハーサル②(総まとめ・最終調整)	
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(5) マネジメント実践ゼミA(5)	必修 選択	年次	3	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(5) マネジメント実践ゼミC(5)	必修 選択	年次	3	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			Adobe Illustrator, Adobe Photoshop, Keynote, PPTの不明点を自分で調べておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(6) マネジメント実践ゼミA(6)	必修 選択	年次	3	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント実践ゼミ(6) マネジメント実践ゼミC(6)	必修 選択	年次	3	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して個人作業からチームワークを学び、伝達力・理解力などを通して0から形にすることを学びます。様々なことを自由にできる分、スケジュール感・マネタイズ、広報部分などすべての責任を担うことで、セルフブランディングを行うことを目的としています。					
到達目標	イベントを考案・立案し、1つのイベントを作り上げる					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月13日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月20日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月27日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月3日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月10日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月17日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月24日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月1日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月8日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月15日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	7月22日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			Adobe Illustrator, Adobe Photoshop, Keynote, PPTの不明点を自分で調べておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月26日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月10日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月17日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月24日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月31日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月7日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月14日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月21日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月5日	講義・演習	ミュージックビデオ/ プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月12日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月19日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月30日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月6日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月13日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月11日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月18日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	10月25日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月1日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月15日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月22日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	11月29日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月6日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月20日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	1月17日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月24日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月31日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	2月14日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月21日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2) ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知る。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学べるのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月27日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月11日	講義・演習	デューク・エリントン ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月18日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月25日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月1日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月8日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月15日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月22日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	6月29日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ピッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月6日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月13日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月24日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月31日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月7日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月12日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月19日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月26日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月2日	講義・演習	ポップ・ティランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月16日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月23日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月30日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月7日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月14日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月21日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月11日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月18日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	2月1日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月8日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	就職対策講座(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	レポート
2	5月8日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/スティーブジョブスの偶然をキャリアに	レポート
3	5月15日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	レポート
4	5月22日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	レポート
5	5月29日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	レポート
6	6月5日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	レポート
7	6月12日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月19日	講義・演習	身だしなみについて知る	レポート
9	6月26日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	レポート
10	7月3日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	レポート
11	7月10日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	レポート
12	7月17日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	レポート
13	8月28日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	レポート
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	レポート
2	10月15日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	レポート
3	10月22日	講義・演習	グループワークの進め方	レポート
4	10月29日	講義・演習	臨機応変の対応力について	レポート
5	11月5日	講義・演習	社会人失敗例について知る	レポート
6	11月12日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	レポート
7	11月19日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	11月26日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	レポート
9	12月3日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	レポート
10	12月10日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	レポート
11	12月17日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	レポート
12	1月12日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	レポート
13	1月21日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語検定講座(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TOPIK II 検定(5級)習得に向けた韓国語学習 国際通用韓国語標準教育課程」が提示している初級文法90個習得 Part1(学習)は、学習目標に応じた言語知識の学習 「Part2(実践)」は、「リスニングとスピーキング」「リーディングとライティング」「課題」に分けられます。「リスニングとスピーキング」は、「Part1(学習)」で学んだ言語知識を活用し、リスニングとスピーキングの課題を実際に行います。「リーディングとライティング」では、リーディングとライティングの課題を実際に行います。「課題」では、学習した内容をすべて活用し、実際のコミュニケーションを体験できるように学習していきます						
到達目標	1. ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2. 日常生活の会話を身に付ける。 3. 単語力を身に付ける。 4. TOPIK II 検定(5級)習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	韓国語で気候と天気について聞いて話すことができる。 気候と天気に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
2	4月26日	講義・演習	韓国語で買い物場所について聞いて話せる。 買い物場所に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
3	5月10日	講義・演習	韓国語でルックスについて聞いて話すことができる。 ルックスに関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
4	5月17日	講義・演習	韓国語でショッピングや食材について聞いて話せる。 ショッピングや食材に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
5	5月24日	講義・演習	韓国語で外食と注文について聞いて話すことができる。 外食と注文に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
6	5月31日	講義・演習	韓国語で休暇計画について聞いて話すことができる。 休暇計画に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
7	6月7日	講義・演習	韓国語で健康状態と治療方法について聞いて話すことができる。 健康状態と治療方法に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
8	6月14日	講義・演習	韓国語で映画前売りについて聞いて話せる。 映画の前売りに関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
9	6月21日	講義・演習	韓国語で休日にする活動について聞いて話せる。 休日にする活動に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
10	7月5日	講義・演習	韓国語で学校生活と規則について聞いて話すことができる。 学校生活と規則に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
11	7月12日	講義・演習	韓国語で失われた物を探す会話を聞いて話せる。 物を失った経験に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
12	7月19日	講義・演習	韓国語で対人関係について聞いて話すことができる。 対人関係に関する文を読み書きすることができる	レポート課題
13	8月30日	講義・演習	韓国語で家事に関する話を聞いて話せる。 家事に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
14	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
15	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オンライン世宗学堂 サイバー韓国語初級2 テキスト				

科目名	韓国語検定講座(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TOPIK II 検定(5級)習得に向けた韓国語学習 国際通用韓国語標準教育課程」が提示している初級文法90個習得 Part1(学習)は、学習目標に応じた言語知識の学習 「Part2(実践)」は、「リスニングとスピーキング」「リーディングとライティング」「課題」に分けられます。「リスニングとスピーキング」は、「Part1(学習)」で学んだ言語知識を活用し、リスニングとスピーキングの課題を実際に行います。「リーディングとライティング」では、リーディングとライティングの課題を実際に行います。「課題」では、学習した内容をすべて活用し、実際のコミュニケーションを体験できるように学習していきます						
到達目標	1. ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2. 日常生活の会話を身に付ける。 3. 単語力を身につける。 4. TOPIK II 検定(5級)習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	便宜施設の利用について聞いて話すことができる。 便宜施設の利用に関する文章を読み書きすることができる。	レポート課題
2	10月11日	講義・演習	配達食品について聞いて話すことができる。 配達食品に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
3	10月18日	講義・演習	服について聞いて話すことができる。 服に関する文章を読んで書くことができる。	レポート課題
4	10月25日	講義・演習	趣味と関心事について聞いて話すことができる。 趣味や関心事に関する記事を読んで書くことができる。	レポート課題
5	11月1日	講義・演習	招待や会議について聞いて話すことができる。 招待や会議に関する記事を読んで書くことができる	レポート課題
6	11月15日	講義・演習	住宅環境について聞いて話すことができる。 住宅環境に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
7	11月22日	講義・演習	約束(拒絶)について聞いて話すことができる。 約束(拒絶)に関する文章を読み書きすることができる。	レポート課題
8	11月29日	講義・演習	総合問題1 検定に向けた模擬テストを実施する	レポート課題
9	12月6日	講義・演習	総合問題2 検定に向けた模擬テストを実施する	レポート課題
10	12月20日	講義・演習	総合問題3 検定に向けた模擬テストを実施する リスニング	レポート課題
11	1月17日	講義・演習	総合問題4 検定に向けた模擬テストを実施する リスニング	レポート課題
12	1月24日	講義・演習	総合問題5 検定に向けた模擬テストを実施する 会話	レポート課題
13	1月31日	講義・演習	総合問題2 検定に向けた模擬テストを実施する 会話	レポート課題
14	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	レポート課題
15	2月21日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	レポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ハングル能力検定問題集、過去問題集				

科目名	栄養学(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンスを専門とする学生が、自身の身体のパフォーマンス維持・向上やケガ予防、体調管理、体型コントロールのために必要な栄養学の基礎知識および応用力を身につけることを目的とする。						
到達目標	<p>本授業を通して、学生は以下の内容を達成することを目指す：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の役割や身体への影響について基礎的な知識を理解できる。 2. 自身のダンス活動や日常生活に必要な栄養バランスを意識した食生活を考えることができる。 3. 食事内容を記録・分析し、必要な改善点を見つけて実践に活かす力が身につく。 4. 無理なダイエットや偏った食生活のリスクを理解し、健康的な体づくりに取り組む姿勢を持てる。 5. 日々のコンディション管理やパフォーマンス維持のために、適切な栄養選択を自律的に行えるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	栄養学ってなに？ 栄養の基本と、なぜダンサーにとって食が大事なのかを理解する。	
2	4月21日	講義・演習	三大栄養素① 炭水化物とエネルギー源としての糖質の働きと必要性。食事の中での役割。	復習
3	5月12日	講義・演習	三大栄養素② タンパク質筋肉や細胞の修復・回復を担う栄養素。食品例と摂取のタイミング。	復習
4	5月19日	講義・演習	三大栄養素③ 脂質必要な脂と避けたい脂。脂質の役割と取り入れ方のバランス。	復習
5	5月26日	講義・演習	ビタミンの働き疲労回復や免疫力に関係するビタミンの種類と働き。	復習
6	6月2日	講義・演習	ミネラルの役割骨・筋肉・血液に関わるミネラル(カルシウム・鉄・亜鉛など)の重要性。	復習
7	6月9日	講義・演習	水分と電解質の補給パフォーマンスと水分バランス。脱水と熱中症予防。	復習
8	6月16日	講義・演習	消化・吸収のしくみ食べたものがどう身体に使われるか。内臓の働きと代謝の流れ。	復習
9	6月23日	講義・演習	食品の選び方(基本編)身近な食材・加工食品の見分け方と選び方のポイント。	復習
10	6月30日	講義・演習	栄養表示の読み方四角ローリー、PFCバランス、成分表示の見方を学ぶ。	復習
11	7月7日	講義・演習	栄養バランスを整える「汁三菜」「主食・主菜・副菜」の考え方を日常食に活かす方法。	復習
12	7月14日	講義・演習	前期の復習ワーク知識の確認とグループワーク。自分の生活への落とし込み。	復習
13	9月8日	講義・演習	前期末試験 基礎知識の理解度確認(筆記または選択式)。	
14	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月22日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	栄養学(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンスを専門とする学生が、自身の身体のパフォーマンス維持・向上やケガ予防、体調管理、体型コントロールのために必要な栄養学の基礎知識および応用力を身につけることを目的とする。						
到達目標	<p>本授業を通して、学生は以下の内容を達成することを目指す：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素の役割や身体への影響について基礎的な知識を理解できる。 2. 自身のダンス活動や日常生活に必要な栄養バランスを意識した食生活を考えることができる。 3. 食事内容を記録・分析し、必要な改善点を見つけて実践に活かす力が身につく。 4. 無理なダイエットや偏った食生活のリスクを理解し、健康的な体づくりに取り組む姿勢を持てる。 5. 日々のコンディション管理やパフォーマンス維持のために、適切な栄養選択を自律的に行えるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ダンサーの1日の食事設計練習日・本番・休養日で異なる食事計画の立て方。	
2	10月13日	講義・演習	練習前後の食事・補食タイミング別に効果的な食べ方と軽食の工夫。補食の具体例。	復習
3	10月20日	講義・演習	疲労回復とリカバリー食糧をためない食事の工夫。抗酸化栄養素と回復レシピ。	復習
4	10月27日	講義・演習	体型管理と健康的なダイエット息な減量のリスク。代謝を落とさずに体を引き締める食生活。	復習
5	11月3日	講義・演習	鉄分不足、RED-S(相対的エネルギー不足)について。	復習
6	11月10日	講義・演習	サプリメントの正しい知識□プロテイン、ビタミン剤などの使い方と注意点。	復習
7	11月17日	講義・演習	コンビニ・外食での工夫□忙しい日常の中で栄養バランスを取る実践力をつける。	復習
8	11月24日	講義・演習	食事の記録と振り返り自分の食事を記録して分析・改善につなげる方法。	復習
9	12月1日	講義・演習	食とメンタルの関係□栄養と気分・集中力の関係。食事でメンタルを整える方法。	復習
10	12月8日	講義・演習	食べないリスクと摂食障害□ダンサーに多い摂食障害の基礎知識と予防について。	復習
11	12月15日	講義・演習	実践ワーク:理想の1週間メニュー作り自分の目標に合わせたメニュー作成とプレゼン。	復習
12	1月19日	講義・演習	後期の復習と発表□まとめとグループごとの気づき・学びのシェア。	復習
13	2月2日	講義・演習	後期末試験 応用力・実践力の確認(筆記または選択式)。	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボディーメンテナンス(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	本授業では、ダンサーが長期的に高いパフォーマンスを維持し、ケガを予防するための「身体管理・セルフメンテナンス能力」を養います。身体の仕組みを理解し、柔軟性・筋力・バランス能力を高めるとともに、日常的なセルフケアやメンタルコンディショニングにも取り組みます。 前期は基礎的な身体知識と実技を、後期はより応用的なアプローチと個別対応を扱います。						
到達目標	1.骨格・筋肉・関節の構造と役割を理解し、ダンスの動作に応じた身体操作ができる。 2.柔軟性・筋力・体幹バランスを養い、安全かつ効率的に身体を動かす方法を習得している。 3.ストレッチ・筋膜リリース・セルフマッサージなど、身体を整える手法を日常的に実践できる。 4.睡眠、食事、呼吸、メンタルケアなど、生活習慣を含めたコンディショニングを理解・実践できる。 5.自分の身体の課題を把握し、それに合ったメンテナンス方法を選択・継続できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	オリエンテーションと姿勢の基礎授業の目的説明、正しい姿勢の確認と評価	
2	4月21日	講義・演習	骨格と関節のしくみダンサーが知っておきたい解剖学基礎(骨・関節)	復習
3	5月12日	講義・演習	筋肉の基本とダンスに関わる主な筋肉筋肉の種類、ストレッチとトレーニングの基礎知識	復習
4	5月19日	講義・演習	呼吸と体幹の連動呼吸法とコアの使い方による安定感向上	復習
5	5月26日	講義・演習	柔軟性トレーニング①(下半身中心) 四つ足の種類と安全な方法(主に下半身)	復習
6	6月2日	講義・演習	柔軟性トレーニング②(上半身中心) 上半身の可動域と可動性アップの方法	復習
7	6月9日	講義・演習	バランスと軸の感覚を養うダンサーに必要な重心と軸の取り方	復習
8	6月16日	講義・演習	筋力トレーニング①(基礎編) 自重を使った筋力トレーニング(基礎)	復習
9	6月23日	講義・演習	筋力トレーニング②(ダンス応用) 動きに直結するトレーニング(下半身中心)	復習
10	6月30日	講義・演習	ケガの予防とテーピング基礎あるケガと予防法、簡単なテーピング体験	復習
11	7月7日	講義・演習	日常のセルフケア①(ストレッチ&マッサージ) 自分でできる疲労回復法(道具も活用)	復習
12	7月14日	講義・演習	日常のセルフケア②(リカバリーの工夫) 睡眠、栄養、入浴など生活習慣の重要性	復習
13	9月8日	講義・演習	試験(前期内容の確認) 〇	
14	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月22日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ボディーメンテナンス(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松永滯奈
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>本授業では、ダンサーが長期的に高いパフォーマンスを維持し、ケガを予防するための「身体管理・セルフメンテナンス能力」を養います。身体の仕組みを理解し、柔軟性・筋力・バランス能力を高めるとともに、日常的なセルフケアやメンタルコンディショニングにも取り組みます。</p> <p>前期は基礎的な身体知識と実技を、後期はより応用的なアプローチと個別対応を扱います。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.骨格・筋肉・関節の構造と役割を理解し、ダンスの動作に応じた身体操作ができる。 2.柔軟性・筋力・体幹バランスを養い、安全かつ効率的に身体を動かす方法を習得している。 3.ストレッチ・筋膜リリース・セルフマッサージなど、身体を整える手法を日常的に実践できる。 4.睡眠、食事、呼吸、メンタルケアなど、生活習慣を含めたコンディショニングを理解・実践できる。 5.自分の身体の課題を把握し、それに合ったメンテナンス方法を選択・継続できる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習と個々の課題確認テストの振り返り+自分の体の課題を知る	
2	10月13日	講義・演習	足・膝・股関節のメンテナンスと下半身の可動性と安定性の強化	復習
3	10月20日	講義・演習	背骨・肩甲骨・首まわりのケア猫背・巻き肩対策と肩こり予防	復習
4	10月27日	講義・演習	可動性と安定性のバランス動ける体とブレない体を両立させる	復習
5	11月3日	講義・演習	フォームローラー・ボール活用筋膜リリースによるセルフケア方法実践	復習
6	11月10日	講義・演習	ダンサー向けピラティス①ピラティスの基礎動作と体幹意識	復習
7	11月17日	講義・演習	ダンサー向けピラティス②応用編:動きに連動したエクササイズ	復習
8	11月24日	講義・演習	瞑想とメンタルコンディショニングとメンタルケア、集中力、呼吸法など	復習
9	12月1日	講義・演習	怪我後のリハビリと段階的回復の回復プログラムの方と事例紹介	復習
10	12月8日	講義・演習	栄養とボディコンディショニングとダンサーに必要な食事の基本	復習
11	12月15日	講義・演習	実践的セルフメンテナンスルーティン日々のケアメニューを自分で構成してみる	復習
12	1月19日	講義・演習	最終確認&発表自分の体と向き合うまとめ(実技または発表)	復習
13	2月2日	講義・演習	試験(後期内容の確認)筆記+簡単な実技テストまたは自己評価提出	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	ILC
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部二)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				